

高額介護合算療養費支給申請書兼自己負担額証明書交付申請書

(申請者の方へ) 記入上の注意事項は、裏面をご覧ください。

(保険者記入欄)

支給申請者整理番号	
-----------	--

申請区分	<input type="checkbox"/> ①高額介護合算療養費の支給を申請します。	申請対象年度	年度	対象となる計算期間	年 月 日 から 年 月 日まで	枚中	枚目
	<input type="checkbox"/> ②自己負担額証明書の交付を申請します。						

フリガナ						保険者名	加入期間	添付の自己負担額証明書整理番号
申請者氏名	Ⓜ				保険者加入歴 ※1	1	年 月 日 から 年 月 日まで	
申請者住所	〒 - 電話 ()					2	年 月 日 から 年 月 日まで	
生年月日	年 月 日生	性別	男・女			3	年 月 日 から 年 月 日まで	
被保険者証の記号・番号	-	加入期間	年 月 日から 年 月 日まで		計算期間の末日において加入する医療保険者の名称 ※2			

フリガナ						保険者名	加入期間	添付の自己負担額証明書整理番号
被扶養者氏名					保険者加入歴 ※3	1	年 月 日から 年 月 日まで	
生年月日	年 月 日生	性別	男・女			2	年 月 日から 年 月 日まで	
加入期間	年 月 日から		年 月 日まで			3	年 月 日から 年 月 日まで	

フリガナ						保険者名	加入期間	添付の自己負担額証明書整理番号
被扶養者氏名					保険者加入歴 ※3	1	年 月 日から 年 月 日まで	
生年月日	年 月 日生	性別	男・女			2	年 月 日から 年 月 日まで	
加入期間	年 月 日から		年 月 日まで			3	年 月 日から 年 月 日まで	

備考					受取代理人の欄	本申請に基づく給付金に関する受領を代理人に委託します。			
						年 月 日 申請者 住所 代理人の氏名と印 Ⓜ 氏名 Ⓜ 委任者と代理人との関係 代理人の住所 〒 - 電話 ()			
被保険者のマイナンバー記載欄 (被保険者本人が市区町村民税非課税者の場合は記入してください。) ※12桁					マイナンバーを記入した場合は、必ず本人確認書類を添付してください。				

振込希望口座	支払区分	金融機関	銀行・金庫 信組・信連 信漁連・農協・漁協	店・本店 支店・出張所 本所・支所	金融機関コード(被保険者記入欄)					預金種別	1: 普通 4: 通知 2: 当座 5: 貯蓄 3: 別段	口座番号					フリガナ

社会保険労務士の提出代行者印	Ⓜ	申請年月日	年 月 日	受付年月日
----------------	---	-------	-------	-------

記入上の注意事項

1. 申請区分について

(1) 自己負担額証明書の交付申請を行う場合、①、②のいずれも□にチェック☑をしてください。

(2) 高額介護合算療養費の支給申請のみを行う場合、①の□のみチェック☑をしてください。

2. 申請者に係る記入欄について

(1) 自己負担額証明書の交付申請を行う場合は、※1 は記入不要です。※2 について記入してください。

(2) 高額介護合算療養費の支給申請のみを行う場合（計算期間の末日に協会けんぽに加入しており、支給申請する場合は、※2 は記入不要です。

※1 について次のとおり記入してください。

・医療保険については、計算期間内に別の医療保険に加入した履歴があれば記入してください。

・介護保険については、計算期間内のすべての加入履歴について記入してください。ただし、介護保険被保険者証が交付されて

いない期間については記入不要です。

・自己負担額証明書については、その対象期間における自己負担額がない場合は添付不要ですが、その場合、「添付の自己負担額

証明書整理番号」欄に「添付なし」と記入してください。

3. 被扶養者に係る記入欄について

(1) 自己負担額証明書の交付申請を行う場合は、当該証明書の証明対象期間において被扶養者であった者について記入してください。

なお、この場合は※3 については記入不要です。

(2) 高額介護合算療養費の支給申請のみを行う場合（計算期間の末日に協会けんぽに加入しており、支給申請する場合は、計算期間

の末日において被扶養者であった者について記入してくだい。

この場合については※3 の記入が必要ですので、次のとおり記入してください。

・医療保険については、計算期間内に別の医療保険に加入した履歴があれば記入してください。

・介護保険については、計算期間内のすべての加入履歴について記入してください。ただし、介護保険被保険者証が交付されて

いない期間については記入不要です。

・自己負担額証明書については、その対象期間における自己負担額がない場合は添付不要ですが、その場合、「添付の自己負担額

証明書整理番号」欄に「添付なし」と記入してください。

4. 備考欄について

備考欄については、申請者及びその被扶養者であった者の加入期間（それぞれの者について、「氏名」欄の下の「加入期間」欄に記入した期

間）における受診歴（受診した年月）を記入してください。（他の医療保険に加入していた期間の受診歴については記入不要です。）

5. 受取代理人の欄について

給付金の受け取りを代理人に委託する場合に記入し、受取代理人の欄の申請者及び受取代理人の@は必ず押印してください。

（受取代理人の@は、申請者の@と別の印鑑で押印してください。）

6. 振込希望口座欄について

ご希望の振込金融機関口座の銀行・支店名等、預金種別及び口座番号（左づめ）を記入してください。ゆうちょ銀行の口座へ振込を希望され

る場合は、ゆうちょ銀行と店名（支店名）及び振込専用の新しい口座番号（7桁）を記入してください。

口座名義人の氏名、フリガナを大きくはっきりと記入してください。なお、口座名義人が申請者と異なる場合は、「受領代理人の欄」の記入

が必要です。

7. その他

申請書の加入履歴欄や被扶養者に係る記入欄などが足りない場合は、2枚目以降に記入してください。その場合、右上の頁欄に全体の枚数と

何枚目かを記載してください。

【自己負担額証明書の添付について（計算期間の末日に協会けんぽに加入しており、支給申請する場合）】

申請者及び計算期間の末日において被扶養者であった者について、それぞれ加入履歴に記入された期間に自己負担額がある場合には、

これに係る自己負担額証明書の添付が必要です。ただし、次のことに注意してください。

・健康保険・船員保険・共済においては、被扶養者として受診した医療の自己負担は、その者を扶養する被保険者（組合員）が負担したものと

して取り扱われます。そのため、被扶養者として加入した期間については、当該被扶養者としての自己負担額はありません。この場合には、

「添付の自己負担額証明書整理番号」欄には「添付なし」と記入してください。

・国民健康保険においては、その世帯に属する者が受けた医療の自己負担は、その世帯主が負担したものと取り扱われます。そのため、世

帯主以外の世帯員として国民健康保険に加入した期間については、当該世帯員としての自己負担額はありません。この場合には、「添付の自己

負担額証明書整理番号」欄には「添付なし」と記入してください。

・対象となる計算期間中に協会けんぽの被保険者期間がある場合における当該期間に係る自己負担額証明書の添付は不要です。この場合には、

「添付の自己負担額証明書整理番号」欄には「添付省略」と記入してください。（なお、当該期間の自己負担に係る申請は別途必要となります

のでご注意ください。）

【非課税の場合について（計算期間の末日に協会けんぽに加入しており、支給申請する場合）】

基準日（計算期間の末日）の属する年度の前年度分の市区町村民税が非課税の場合は、マイナンバーの情報連携により被保険者の課税情報を確認^{※1}するため、申請書のマイナンバー記載欄にマイナンバーを記入のうえ、以下の書類を貼付台紙兼マイナンバー情報連携申出書^{※2}に㉞㉟どちらも貼付し、申請書に添付^{※3}してください。

㉞ 身元確認を行うための書類（いずれか1点）

・被保険者の個人番号カード（表面）のコピー、運転免許証のコピー、パスポートのコピー、その他官公署が発行する写真付き身分証明書のコピー

㉟ 番号確認を行うための書類（いずれか1点）

・被保険者証の個人番号カード（裏面）のコピー、個人番号通知のコピー、被保険者の個人番号が記載された住民票か住民票記載事項証明書

※1 基準日が、平成29年7月以前の申請については、マイナンバーの情報連携が利用できないため、被保険者の住民税の（非）課税証明書を添付してください。

※2 協会けんぽホームページでダウンロードすることができます。

※3 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に定められています。

マイナンバーの情報連携を希望しない場合は、被保険者の住民税の（非）課税証明書を添付してください。

ただし、被保険者が計算期間の途中で死亡した等により基準日が前年8月1日から3月31日のいずれかの日を基準とみなした場合にあっては、当該基準日とみなした日の属する年度分の証明書類を添付してください。